

社行動指針

【Mindset 心構え】	
・Cross-functional	組織を超えて協力する
・Transparent	状況を明らかにして 分かり易く説明する
・Look outward	外に出て外に学ぶ
【Actions 行動】	
・Commit	必達目標を定量的に約束する
・Challenge	価値創造のために自ら困難な 仕事を引き受ける
・Perform	スピード感を持って具体的な 成果を上げる



特別号

倉敷市船穂町水江 1424
 水菱プラスチック株式会社
 電話(086)552-3153
 発行責任者 菱沼 孝緒
<http://www.suiryo.co.jp>

第52期 定期株主総会において尾花新社長が選任

就任のあいさつ



取締役社長 尾花 徹夫

水菱プラスチックは素晴らしい会社です。

バンパーからインパネ、ドアトリム等三菱自動車の主要部品を高い技術力と皆さんや加治前社長の熱い思いによって世に産み出し、社会に提供しています。先日吉報があり、超軽量バンパ

退任のあいさつ



前取締役社長 加治 貞雄

社長就任以来5年間、大変お世話になりました。

振り返ってみますと、三菱自動車燃費不正問題による大幅な減産、三菱自動車が日産自動車のアライアンスの一員になり新型軽四では調達環境・生産準備方法が大きく変化、西日本豪雨

” 変革と挑戦 ”
— Change and Challenge —

「インパネで日産が主催する「日産グローバルサプライヤーアワード2019」を受賞する事になりました。

しかし、我々を取り巻く環境は激しく変化し、100年に一度と言われる自動車変革の時代に突入し、強いものはより強く大きくなり、弱いものは淘汰される時代になりつつあります。

お客様や社会のニーズも高度化複雑化する中、自動車メーカーは単独では生き残れず、アライアンスという形を取りながら生存する道を探し、自動車部品メ

「カーは新技術導入こそが生き残れる最善策と認識し、他メーカーとの提携やM&Aを水面下で進めています。

この温暖で風光明媚な倉敷に於いて、長い間三菱自動車に守られ安定していた従来の事業経営は最早成り立たなくなり、技術だけでなく、収益力の競争に身を投じ、勝たなければならなくなっています。今まで注意する必要の無かった日々進化する世界の部品動向や三菱自動車以外のOEMメーカーの動きを敏感に察知し、積極的に対

「ものづくり力が会社の成長を支える」

では多くの社員宅が被災(現在も復興中)など予期しない逆風・環境変化に遭遇しました。しかし、社員やご家族及び取引先の皆様のご協力・ご支援を頂き無事乗り越える事ができました。

当社の経営体質は、水島製作所への依存度が高く一本足打法となっていました。2013年にスタートさせた岡崎事業所は、2017年新型SUV「エクリプスクロス」のインパネ、ドアパネルの生産を開始しました。

更にアウトランダー次期車のインパネ・ドアパネルも受注する事ができ、来年には生産を開始

する予定です。主要2車種の製品を生産することになり岡崎事業所は当社にとって重要な生産拠点となりました。

今年度は、当社の将来にとって重要なモデルチェンジ予定車のソーシングがあります。持つコスト競争力、技術提案力を発揮し、厳しい競争に勝たねばなりません。安く良い製品を届けるには他社を凌駕するものづくり力が必要です。当社のも

のづくり力は、日産自動車様から新型軽四で名譽あるイノベーションアワードを頂きましたが、最近品質面が落ちた感がありま

「応じて行かねばならず時間をかけて築いて来た「ものづくり」は、短期的に取得し実現する事が要求され、抜本的な意識と組織の改革が必要になっていきます。技術、製造、そして稼働力を早期に他社に負けない盤石なものとし、企業価値を高め、如何なる荒波が来ようと持続可能な会社にして行きます。そして大樹の陰で雨風を凌ぐのではなく大海に船を出して行きます。私も不転の覚悟で臨みますので、皆さんも自分の会社であり、家でもある水菱プラスチックを守り、更に強い会社へと育てて行きましょう。」

「現場のものづくり力が会社の成長を支えると思っていますので、今一度原点に返りものづくり力強化に取り組んで頂く様お願いします。」

社長を尾花さんにバトンタッチしましたが、尾花さんは三菱商事出身の方で海外経験も豊富でグローバルに物事を見、判断できる力を持たれた方です。水菱プラスチックが後塵を拝している海外展開では十二分に力を発揮されることと思います。最後に皆さんとそのご家族のご健勝と、お取引先様並びに協力会社様の益々のご発展を祈念致しまして退任の挨拶とさせていただきます。